

成功時こそ反省したい

第49回信州・御代田龍神まつりは7月29日、龍の舞保存会の皆さんの演舞と龍神太鼓「鼓響」の皆さんの演奏、そしてフィナーレの花火が文字通り華を添えて、これまでにないような多くの観客の皆さんのもと、幕を閉じました。4年ぶりの通常開催となり、終わってしばらく経ってからも「まつりが大成功でよかったね」という声をいただき、ひとまず安堵しております。

ただ、そういう時だからこそ、次のための反省を念入りにする必要があります。失敗した時にはそれ自体が学びとなるのでいいのですが、成功と言われ油断しているときにこそ次の大きな失敗の種が出てくるように思います。

駅前の開会式の段取りには少なからずミスがありました。龍神の杜公園でのフィナーレは予想以上の人出で、龍の演舞が見られないかたが多数にのぼったように思います。また、このまつりはもともと手弁当から始まった経緯があることから、本来お支払いをするべき代金を支払っていなかったり、相当低い金額で支払っている場面も多々あります。まつりの永続性を考えると、そういったところにも今後目を配っていく必要があると思います。

昨年組織され今回のまつりでさまざまに花開いた企画部会の皆さんや、龍の舞保存会、鼓響の皆さん、商工会や観光協会、役場スタッフの意見を集約し、正副実行委員長会議の中でしっかり議論してまいりたいと考えております。皆さまのご意見もぜひお寄せください。第50回記念大会の成功に向け、1年かけて準備してまいります。

Shin ri shi Vol.30  
**心 理 師**  
 「個人と社会の狭間で、いい湯だな」  
**岡 本 直 人**  
 Oka moto Nao to



町の心理師、岡本です。  
 今回は「いい湯加減」…ではなく「いい加減」についてのお話です。どちらかと言えば「でたらめ」や「中途半端」という意味で使われることが多いこの言葉。ご存知の方も多いかとは思いますが、辞書的には「ほどよい」「いい具合」という意味もあります。

一般的に学校や職場では「頑張る」ことが推奨されます。「全力を尽くす」「何事にもチャレンジする」「継続する」なども同様であり、これらは成長や発展、サービスの向上などのためには欠かせません。その一方、子どもでも大人でも「頑張りすぎ？」の人に出会うことがあります。頑張りすぎること自体は決して悪いことではありませんが、職業柄、「頑張りすぎ？」な方々を見ると少々心配になってしまいます(お節介ながら)。

このような方々を支援する場合、後者の意味での「いい加減」を探っていきたいところですが、いやこれが実にむずかしい。「頑張りすぎ」について本人が困っていない場合、本人は辛くても周囲が気にしていない場合、本人も周囲も「頑張りすぎ」に気づいていない場合などがあり、ややもすれば相談にあがってこなかったり、あまり問題視されなかったりします。また仮に相談にあがってきても、すでにその時点では本人に「力を抜いていいよ」「休んでいいよ」と単純にアドバイスしてもあまり効果がないことがほとんどです。

「いい加減」について万人に共通する基準はありません。そのため実際のアプローチはさまざまであり、本人や周囲の意識、価値観、特徴などの違いを踏まえて、その人にとっての「いい加減」の方法を探っていきます。夏休みが終わり、また学校や仕事の本格的に始まりますが、どうか皆さまも「いい加減」でお過ごしください。手始めに、いまの時期に合ったお風呂の温度を探してみても良いかもしれません。

問い合わせ先 教育委員会学校教育係 (32) 9100

ほん とに、いい出会い



「森の赤鬼 C.W.ニコルの軌跡」  
 北沢彰利/著作  
 出版：信濃毎日新聞社

「森の赤鬼 C.W.ニコルの軌跡」  
 英国ウエールズに生まれ、日本の自然保護に邁進した作家C.W.ニコル。旺盛な探究心と行動力で世界を駆け巡り、信州・黒姫に多様な命を育む森をつくるまでの出会いと波乱に満ちた人生を辿る。



「いっぴきおおかみとおほしさま」  
 まつむらまいこ/作  
 出版：小学館

「いっぴきおおかみとおほしさま」  
 自由気ままに暮らしているいっぴきおおかみと、夜空で輝く星座の星。ある夜、ふたりが出会い一緒にひと時を過ごすことに…。優しいおおかみと、無邪気で明るいお星さまの、おたがいを思いやる友情と安息に満ちた癒やしの絵本。



「ハティのはてしない空」  
 カービー・ラーソン/著  
 杉田七重/訳  
 出版：鈴木出版

「ハティのはてしない空」  
 20世紀初頭、アメリカ北西部のモントナで、両親のいない16歳の少女ハティは、おじの遺言を受け、たったひとり、土地の開拓に挑む。厳しい暮らしのなかの、あたたかな心のふれあいを描いた物語。



「ちいさなおじさんとおおきな犬」  
 パールプロー・リンドグレン/文  
 エヴァ・エリクソン/著  
 菱木晃子/訳  
 出版：あすなろ書房

「ちいさなおじさんとおおきな犬」  
 ひとりぼっちのちいさなおじさん。みんなに親切にしたいのに、意地悪されてしまいます。さみしくていつも泣いていましたが、「友だち募集中」の貼り紙をしたところ…。スウェーデンからやってきた、心あたたまる絵本。

戸籍の窓



※戸籍の窓は、届出者から了解を得て掲載しています。  
 ※世帯主名、区名は住民票に基づいています。

- 人口16,513人 (前月比 31) 男8,198人 女8,315人
- 世帯数7,761世帯 (前月比 8) (8月1日現在)